

大会開催・実施時の感染防止策チェックリスト(第10版)【主催者向け】

秋田県小学生バレーボール連盟

全般的な事項

- 感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をチェックリスト化し掲示すること。
- 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること。
巡回時間・担当者を決定し、配置する。
- 障がい者や高齢者など利用者の特性にも配慮すること。
- 感染が発生した場合に備え、参加当日に提出を求めた書面について、保存期間1か月とし、原本は主催者が保管することとする。
- 大会後に参加者から新型コロナウイルス感染症発症の報告があったり、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告されたりした場合の対応方針について、施設の立地する各自治体の担当部局と事前に検討しておくこと。

大会等の参加募集時の対応

- 主催者が参加者に求める感染防止のための措置としては、以下のものが挙げられる。
 - 参加者が以下の事項に該当する場合は、原則、参加の見合わせを求めること。
 - 体調がよくない場合（平熱を超える発熱、咳・のどの痛み等風邪症状、倦怠感、呼吸困難、味覚や嗅覚の異常）※大会当日に書面で確認
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 本人・家族を含め、過去14日以内に県外への往来や県外の人と接触がある場合
ただし、日常的な仕事（物流・運送サービス等を含む）や感染リスクを伴う混雑や会食を伴わない一時的な入学試験、各種資格試験等のための往来・接触であることが確認できる場合は参加を認めるが、いずれも行動詳細状況を申告し主催者の指示に従うこと。※大会当日に書面で確認
 - マスクを正しく着用すること。（熱中症予防等を考慮するが、スポーツ活動に支障のない範囲で着用する。）
 - こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
 - 他の参加者、スタッフ等との距離（できるだけ2 m以上）を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く。なお、人との距離を2 m以上確保できる場合は、マスクを外すことができる。）。
 - 大会開催中は大きな声で会話せず、試合中は座ったままで観戦のみとし大声での応援はしない。
 - 感染防止のために主催者が定めたガイドラインを遵守し、主催者の指示に従うこと。
遵守できない場合は参加の取り消し、または途中退場を求める場合がある。
 - 大会終了後1週間以内に本人・家族が新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、県小連理事長（相楽 郁子 TEL090-4884-2883）へ速やかに濃厚接触者の有無等を含め報告すること。

当日の参加受付時の対応

- 受付には、手指消毒剤を配置すること。
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼びかけること。（発熱者の入場制限等）
- 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること。（またはフェイスガードを使用する。）※使用については、状況に応じて判断するものとする。
- 参加者が距離を置いて並べるように目印の設置等を行うこと。
- 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること。（その他のスタッフも、全員マスク着用のこと）
- 参加料は予め振り込みとし、当日徴収は避けること。
- 参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求めること。
 - 参加者の氏名、年齢、連絡先（電話番号）等 ※個人情報の取り扱いに十分注意する
 - 大会当日の体温及び大会前2週間における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱
 - 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪症状
 - 倦怠感
 - 呼吸困難
 - 味覚や嗅覚の異常
 - 本人・家族を含め、過去14日以内に県外への往来や県外の人との接触の有無
ただし、日常的な仕事（物流・運送サービス等を含む）や感染リスクを伴う混雑や会食を伴わない一時的な入学試験、各種資格試験等のための往来・接触であることが確認できる場合は参加を認めるが、いずれも行動詳細状況を申告し主催者の指示に従うこと。

大会参加者への対応

- マスク等の準備
 - 参加者が正しくマスクを着用しているか確認すること。鼻を隙間なくふさぎ、ほほやあごの位置を確認し、フィットした状態が正しい着用状態であることから、いわゆる鼻だしマスク、顎マスクは認めない。
ただし、大会参加中において身体への負荷（息苦しいなど）を考慮したうえで、夏場は熱中症対策を優先し、自身の体調やスポーツ活動に支障のない範囲での着用とし、感染防止に必要な人との距離（2m以上を目安）を確保できて、かつ会話をほとんど行わない場合は、マスクを外すことができるものとする。
- 会場到着後、手指消毒または手洗いをを行うこと。
 - 会場到着後、フロア入場時、トイレ使用後は必ず手洗いまたは手指消毒を行うこと。
- 大会参加前後の留意事項
 - 大会前後のミーティング等においても、三つの密を避けること。
 - 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること。会話は最小限とする。

大会主催者が準備すべき事項の対応①

■ 大会会場・競技備品類

- 消毒液、非接触式体温計、使い捨て手袋、ウェットティッシュ(アルコールタイプ)、ごみ袋、予備のマスク、アクリル板またはビニールカーテン(またはフェイスガード)
- 換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行う。
- 定期的な換気に加え、空調等の活用(熱中症リスクにも備えること)
- 試合球は複数個用意し、こまめにアルコール消毒を行って交換しながら使用する。
- フラグ、得点板、モップその他備品類のこまめなアルコール消毒など衛生対応する。(1試合ごと)
- 審判員の笛の管理(不慮の接触を避け、マスク着用のまま吹笛すること)

■ 運営スタッフの体調管理

- 大会当日の体温及び大会前2週間における以下の事項の有無

- 平熱を超える発熱
- 咳(せき)、のどの痛みなどの風邪症状
- 倦怠感
- 呼吸困難
- 味覚や嗅覚の異常
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方の有無
- 本人・家族を含め、過去14日以内に県外への往来や県外の人との接触の有無

ただし、日常的な仕事(物流・運送サービス等を含む)や感染リスクを伴う混雑や会食を伴わない一時的な入学試験、各種資格試験等のための往来・接触であることが確認できる場合は参加を認めるが、いずれも行動詳細状況を申告し主催者の指示に従うこと。

■ 式典等、運営の簡略化

- 開・閉会式、表彰式の簡略化の対応として、開・閉会式は行わず、表彰式はコート上で行う。
- 試合前後のチームや審判員との握手や相手チームベンチへの挨拶はしない。

■ トイレ・手洗い場所

- トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、水洗トイレのレバー等)は、こまめに消毒する。
- 手洗い場には石鹼(ポンプ型が望ましい)を用意する。
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること。
- 手洗い後に手を拭くためのマイタオルの持参をお願いする。(手指を乾燥させる設備については使用しない)。
- 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意する。

■ ゴミの廃棄

- 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人はマスクや手袋を着用する。
- マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹼と流水で手を洗い、手指消毒する。

大会主催者が準備すべき事項の対応②

■ 更衣室、休憩・待機スペース

- 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける。（障がい者の介助を行う場合を除くが、マスクの着用を必須とする。）。
- ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じる。
- 複数の参加者が触れる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）は、こまめに消毒する。
- 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮する。

■ 競技中の注意事項

- セット間でのベンチの消毒や換気など適切な感染防止対策の実施。
- 試合前の円陣やベンチでの集合時、できるだけ密集・接触を避ける。
- 競技中のハイタッチは腕のタッチにとどめる。
- タオル、水ボトル、アイシングバッグなどの共用禁止。
カゴ等への集約により、個々の所有物が接触しないように注意する。（個人用の袋を用意する。）
- 補助スタッフの注意事項も明確にしておく。

■ 観客の管理

- 体育館の壁際通路など、観戦場所が狭いスペースに限られる場合は観客の入場許可を見合わせる。
- 出入口付近通路に消毒剤を設置するほか、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席数を減らすなどの対応をとる。
- 試合前後の一斉移動をコントロールする。
- 内履きが必要な場合もスリッパの貸与は控えて、外履きを持ち込むための袋を持参するよう促す。
- 応援ルールを各チームに周知する。立ち上がり座って観戦することとし、大声での応援はしない。
- 会話はできる限り控えることとし、会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知する。

大会開催の判断基準

■ 秋田県新型コロナウイルス感染警戒レベル及び感染状況を参考とする。（※警戒レベル3は開催不可）

- 警戒レベル1の場合は、感染状況に応じて考えられる最大限の感染防止対策を実施する。
- 警戒レベル2の場合は、参加チームの選手が属する学校（区域の中学校及び幼稚園、保育園等を含む）及び各地区の感染状況を踏まえ主催者が最終判断するものとする。なお、大会を開催する判断がなされた場合は、警戒レベル1より強化した最大限の感染防止対策（入館者数を制限するなど）を実施する。
- 大会前1週間以内に、大会関係者（選手、指導者、保護者、役員等）に感染者が発生した場合は、感染者本人にあっては不参加とし、1週間以内の当該チームの活動に感染者本人が参加していた場合は、当該チームも大会には参加してはならない。なお、濃厚接触者が発生した場合は、陰性が確認されるまでは同様の対応とする。また、大会期間中に大会関係者に感染者又は濃厚接触者が発生した場合は、大会を中止し、大会参加者はPCR検査等を受け、検査結果に応じて保健所等の指示に従うこと。

■ 行政機関及び秋田県スポーツ少年団等からの自粛等の要請があった場合は開催しない。

大会開催・実施時の感染防止策チェックリスト(第10版)【参加者向け】

秋田県小学生バレーボール連盟

参加者が遵守すべき事項

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（大会当日に書面で確認を行う）。
 - 大会当日の体温及び大会前2週間における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱
 - 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪症状
 - 倦怠感
 - 呼吸困難
 - 味覚や嗅覚の異常
 - 本人・家族を含め、過去14日以内に県外との往来や県外の人と接触がある場合
ただし、日常的な仕事（物流・運送サービス等を含む）や感染リスクを伴う混雑や会食を伴わない一時的な入学試験、各種資格試験等のための往来・接触であることが確認できる場合は参加を認めるが、いずれも行動詳細状況を申告し主催者の指示に従うこと。
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合（※参加不可。事前申告とし、書面不要。）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合（※参加不可。事前申告とし、書面不要。）
- マスクを正しく着用すること。（熱中症予防等を考慮するが、スポーツ活動に支障のない範囲で着用する。）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- 他の参加者、スタッフ等との距離（できるだけ2 m以上）を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除くが、マスクの着用を必須とする。）。
- 大会開催中は大きな声で会話をせず、試合中は座ったままで観戦のみとし大声で応援しない。
- 大会前後のミーティングにおいて、三つの密を避けること。
- プレー以外の不要な接触を避ける。（ハイタッチは腕タッチとする等）
- 試合前後のチーム、審判員との挨拶と握手、相手チームベンチへの挨拶は行わない。
- タオルは共用しない、また、飲み物の回し飲みはしないこと。
- 試合後の着替え等は素早く済ませる。
- ゴミは各チームで、密閉した状態で持ち帰る。
- 感染防止のために主催者が定めたガイドラインを遵守し、主催者の指示に従うこと。
遵守できない場合は参加の取り直し、または途中退場を求める場合がある。
- やむを得ず昼食を摂る必要がある場合は、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け横並びとし、会話はしないこと。また、会食（保護者のみの飲酒を伴う会食含む）は避けること。
- 大会終了後1週間以内に本人・家族が新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、県小連理事長（相楽 郁子 TEL090-4884-2883）へ速やかに濃厚接触者の有無等を含め報告すること。